

第 61 回 秋田建築労働組合 定期大会



2月20日、第61回定期大会を秋田市「秋田ビューホテル」で開催。「組織増勢の力で賃金・労働条件を改善し、若者に魅力ある建設産業にしよう」をメインスローガンに組合員282人が参加。仕事と賃金の確保、処遇改善を強く求め、組合活動をさらに盛り上げていく決意を新たにしました。

主催者を代表して佐々木澄夫組合長があいさつで「回復基調にあると判断が据え置かれているが、実態が伴わず依然として個人消費は伸び悩み、労働配分率は低下し続け企業規模間や、雇用形態間、さらに男女間など格差が縮む傾向は見られない」と県内の経済状況にふれ、「我われ秋田建労は仲間同士の連帯の下、建設労働者の権利確立を求め各関係団体、推薦議員のご協力を受けて行政はじめ世論喚起に努めてきた」と述べた。

新年度については建設職人が安心して働くために、「特定検診・保健指導の受診率向上を目指すとともに建設国保の充実と安定への運動強化、標準賃金を月額24000円とし、工務店等が見積書作成時の基準となる設計労務単価を月額25800円とすることを広く周知し、リフォーム補助事業の継続・充実、公契約条例の制定など、冷え込む建築職人の仕事確保と処遇改善、安全衛生の啓もう・普及に努めたい」「青年部の育成は未来の人材確保につながる。積極的に環境作りを進める」と力強く訴えた。



9時00分 受付開始

10時00分 久米教宣部長の司会で定期大会が開始されました。

はじめにこの一年、亡くなられた組合員のご冥福を祈り、黙祷。

議長に牛島支部 佐藤貞明さん、能代支部 工藤達美さんを選出。

主催者を代表して佐々木澄夫組合長があいさつをしました。つづいてご来賓の皆様からご祝辞をいただきました。(詳しくは機関紙3月号を参照)



ホテルスタッフの皆さんが会場準備中。



8時45分 おはようございます。

役員、事務局職員が揃い大会の成功に向けて組合長、書記長からあいさつ



全建総連 書記長 勝野圭司 様



連合秋田 会長 黒崎保樹 様



秋田市長 穂積志 様



美郷町長 松田知己 様



秋田労働局 労働基準部長 半田和義 様



中建国保組合 常務理事 岩館高志 様
つづいて、秋田県知事からのメッセージ、各方面からの祝電が事務局より披露されました。



支部表彰を受ける秋田東支部 中野宏支部長



鹿角支部 木村裕司支部長



職員 20年勤続表彰を受ける五十嵐智博さん



職員勤続 10 年表彰を受ける後藤貴さん



職員勤続 10 年表彰を受ける秩父亜希子さん

午後 13 時 00 分議事に入り、平成 29 年度経過報告、会計決算を報告。(詳しくは機関紙 3 月号を参照)



質問に答弁をする照井書記長



足場組立等の資格習得報奨金制度について質問する
千秋支部 七尾勇人さん



イータックスを活用した確定申告講習会について
質問する外旭川支部 高橋政義さん



答弁する駒根税金対策部長

第61回 秋田建築労働組合定期大会



定期大会に参加した青年部員と大会スローガンを力強く読み上げる古屋青年部長（中央）



鈴木副組合長が閉会の挨拶と「団結ガンバロー」を三唱して散会となりました。



新役員を選出。「一致団結し強固な秋田建労、更なる発展を」と決意を述べた佐々木組合長



退任された組合本部役員。左から古屋清太青年部長 佐川俊孝社保共済福祉部長 菅原清司会計監査 鈴木正会計監査